



伊賀の友垣

三重県立上野高等学校同窓会東京支部会報

16号

事務局

〒189-0003 武蔵野市吉祥寺南町

3-18-10 吉岡進宅

TEL. 0422 (43)2686

E-mail: belmo-yoshioka@mx1.ttcn.ne.jp

発行人 吉岡進

発行年月日/平成17年10月1日

第11回東京支部総会・懇親会盛大に開催

新支部長に吉岡進さん(高3回)を選出/古川タクさん(高11回)が講演

11回を迎えた東京支部総会・懇親会は平成16年11月14日(日)、都ホテル東京・醍醐東の間で開催された。郷里の上野から星周輔同窓会会長、左橋佳三副会長、上村桂一母校校長、及び本部同窓会事務局の福井亨教諭をお迎えし、支部会員約120名が集い、盛大な会となった。

会は3部からなり、第1部総会では西口浩さん(高9回)の開会の辞で始まり、支部長の挨拶の後、議事に入り、事業報告、会計報告、監査報告があり、質疑の後、承認された。役員改選では、2期4年にわたり支部長を



お願いした大中道紹郎さん(高1回)に替り、新支部長に永年事務局をお世話戴き東京支部の顔でもある、吉岡進さん(高3回)が選出された。続いて、前々

支部長の故松山英敏さん(中42回)寄贈の同窓会旗が奥様の松山容子さん(高6回)から新支部長に手渡され、参加者の盛大な拍手の中、披露された。最後に新支部長の挨拶では、上中の大先輩の集まり「三火会」の活動から、東京支部へと引き継がれた活動の歴史を振り返り、先輩達の創られた良き伝統を受け継ぐために、もつと若い世代の参加の必要性を熱く語られた。(中森)

第2部は、皆さんお待ち兼ねのマルチメディア・クリエイター・古川タクさんの講演「メディアは引越しする——古川タクの体験的メディア論」です。本名・古川肇(はつ)さんのタクさんは上高11回卒で、アニメ作家・イラストレーター・東京工芸大学教授と八面六臂の活躍をされており、昨年紫綬褒章を受章されました。上野本部では何回もお願いしておりますが東京支部では初めての講演です。

タクさんの原点となった、手塚治虫の漫画、旭座・



相生館でみた映画、上野公園での世界子ども博覧会、絵が上手いお兄さんの感化・影響や、近所のおじさんの紙芝居など、少年期の記憶からはじまり、DVDをスクリーンに映しつつ、イラスト作品、挿絵、本のカバー画、3D作品、アニメ作品など多くを紹介されました。

とりわけ、ユーリ・ノルシュテインら国内外のアニメ作家の競作で、「冬の日」という芭蕉さんの連句にヒントを得た伊賀でのパフォーミング・アーツの披露や、小津安二郎監督の「東京物語」を翻案

| 今号の内容 | |
|-------|------------------------------|
| (2) | 事業報告/決算報告/役員幹事者名 |
| (3) | 第11回東京支部総会・懇親会開催/新支部長就任にあたって |
| (4) | 新卒業生歓迎会 |
| (5) | 上野元気の会の活動 |
| (6) | 伊賀市長と懇談/NPO法人続々 |
| (7) | 秋の会便り/同期会便り 高13回 |
| (8) | 同期会便り 高17回・18回 |
| (9) | 芭蕉翁生誕地異聞/行田の古代蓮 |
| (10) | ためになる故里資料⑤ 観世のルーツ・伊賀 |
| (11) | 上野高校新聞 |
| (12) | コミュニケーションプラザ |

東京支部会費

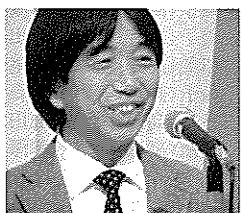
(年額1,000円)

大切な支部運営資金でありますので、「伊賀の友垣」同封の振込用紙でお振込みください。

口座番号 郵便局

00140-1-164093

上野高校同窓会東京支部



中森 東出 秦

建夫 修一 信子 尚

(高14回) (高11回) (高17回) (高22回)